

天理市地震防災対策 アクションプログラムを策定して

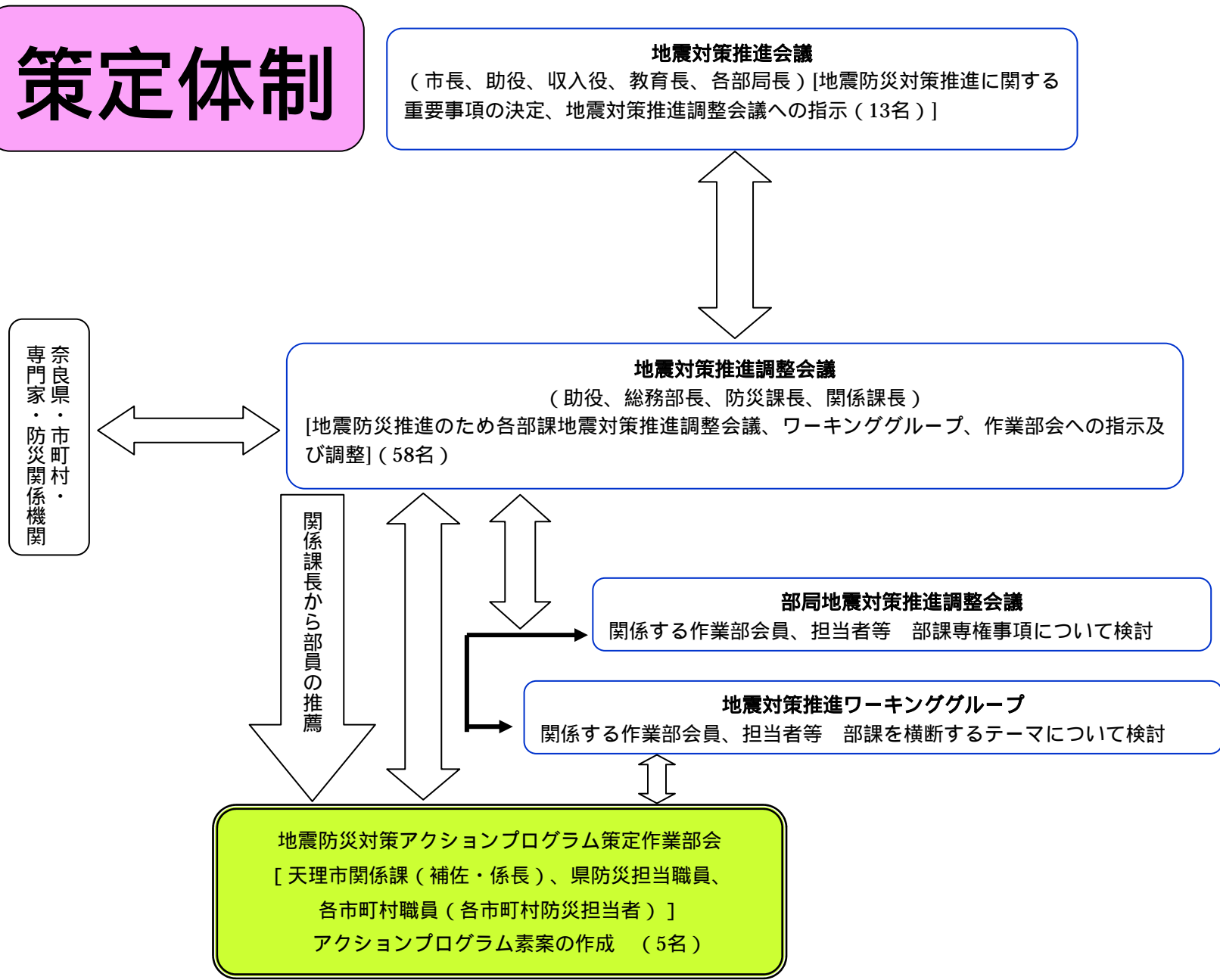


天理市 総務部 防災課
課長補佐 森田 和行

天理市の基本理念

21世紀前半の地震活動期に向かって、市民の総力で防災協働社会を実現し、安全・安心のまちづくりを目指します。

策定体制



アクションプログラム策定スケジュール

	日 程	内 容	会 場	備 考
	7月3日(月)	研修会	ふるさと会館	
	7月5日(水)～14(金)	アイデア募集		
	7月14日(金)～28(金)	アイデア整理	防災課	カード作成
	7月31日(月) ～8月1日(火)	第1回ワークショップ	533会議室 消防署会議室	
	8月2日(水)～25(金)	分野ごとのカード整理	防災課	
	8月28日(月)	第2回ワークショップ	533会議室	
	8月29日(火)	重要課題検討会	533A会議室	
	9月8日(月)	報告会打合せ	防災課	
	9月15日(金)	報告会準備	533A会議室	
	10月2日(月)	報告会	ふるさと会館	

		内 容	会 場	備 考
	10月3日(火)～	事業化検討の資料作成		
	12月5日(火)	地震対策推進調整会議開催 策定作業部会開催	533会議室	
	12月5日(火)～20(水)	事業化検討		
	12月20日(水)～2月上旬	事業化案の整理		
	2月27日(火)	地震対策推進調整会議開催 地震対策推進会会議開催	533会議室	
		市長の承認		
	3月16日(金)	アクションプログラム完成		
	3月22(水)～	関係機関等に配布		

アクションプログラム作成モデル事業研修会



アイデアカード作成

天理市で、2171枚のアイデアカードを作成
(公募1314、先進事例857)。

天理市で、これらのアイデアカードを天理市アクションプログラムの「施策の柱(10)」に基づき分類



天理市地震防災対策アクションプログラム

天理市ワークショップ(第1回)

2006.7.31



第1回ワークショップの様子



第1回WS後の作業成果

職員から「天理市で収集したアイデアは、奈良県APの1階層目・2階層目を用いてうまく整理できた。」との意見がありました。

3階層目は、県の構造では整理できない項目もあるとの意見が出たため、天理市独自の項目を設定しました。



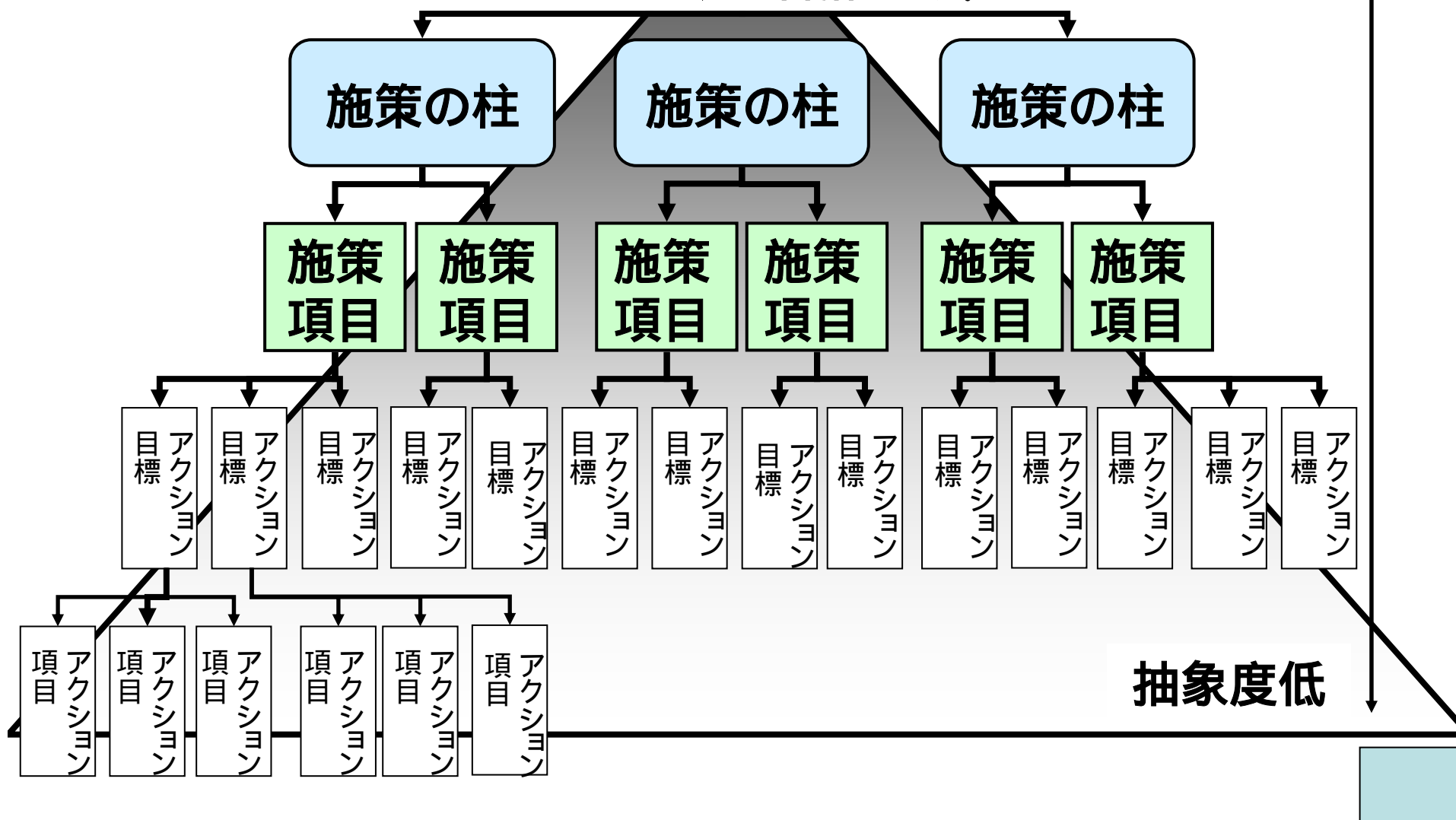
天理市アクションプログラム集計表 (第1回ワークショップ成果)

施策の柱		施策項目	アクション目標	アクション項目
1	地震につよいまちをつくる	5	15	43
2	地域の防災力を向上させる	2	11	45
3	的確な防災情報処理を実施する	4	6	23
4	人的資源を確保する	3	9	26
5	市民のいのちを守る	6	14	48
6	安全・安心を守る	3	5	18
7	生活基盤を安定させる	3	4	24
8	市民の生活を支援する	4	10	74
9	天理市のイメージを守る	3	6	15
10	復興を視野に入れる	8	17	55
合 計		41	97	371

天理市地震防災対策防災体系図

基本理念：21世紀前半の地震活動期に向かって、
市民の総力で防災協働社会を実現し、安全・安心
のまちづくりを目指します。

抽象度高



天理市地震防災対策アクションプログラム

天理市ワークショップ(第2回)

2006.8.28



第2回ワークショップの様子



天理市アクションプログラム集計表 (第2回ワークショップ成果)

施策の柱		施策項目	アクション目標	アクション項目
1	地震につよいまちをつくる	5	15	43
2	地域の防災力を向上させる	2	14	51
3	的確な防災情報処理を実施する	5	8	40
4	人的資源を確保する	3	10	26
5	市民のいのちを守る	6	17	54
6	安全・安心を守る	3	11	30
7	生活基盤を安定させる	3	6	22
8	市民の生活を支援する	4	10	74
9	天理市のイメージを守る	3	7	19
10	復興を視野に入れる	8	17	58
合 計		42	115	417

重点課題検討会の報告

2006.8.29



重点課題検討会の様子



自主防災組織

アクション目標		アクション項目		
1	行政の補助	1	消防署・消防団・自主防災への補助	1
2	災害発生後の被災者への支援	1	相談の窓口になる	2
		2	食事の用意をする	3
		3	市からの情報の伝達・提供をする	4
3	人命を救助する	1	自分自身を守る	5
		2	安否を確認する	6
		3	行方不明者の捜査	7
4	人的な支援内容の指示	1	すべき対応行動の支持	8
		2	人的なものの支援をする	9

災害時要援護者

アクション目標		アクション項目		
1	要援護者の把握	1	要援護者の名簿を作成	1
		2	要援護者のマップを作成	2
		3	要請カードの作成	3
		4	避難時に医療機器が必要な人を事前に把握しておく	4
		5	要援護者の所在の確認をし個々の避難の対応を考えておく	5
		6	要援護者の安否確認がスムーズに行えるシステムを構築する	6
2	安否確認	1	逃げ遅れた人はいないか確認する	7
3	避難所の表示周知	1	市内福祉作業所を一時避難所に使用できるよう行政が調整する	8
		2	要援護者の重傷度をランク付けし、避難場所を振り分ける	9
		3	人工透析等生命に危険のある在宅者の受け入れ先の確保	10
		4	避難場所とサブ避難場所をいつも住民にわかる場所に表示しておく	11
4	要援護者の避難に必要な資機材・物資の備蓄及び準備	1	要援護者用の物資を備蓄しておく	12
		2	車椅子等の資機材を備蓄する	13
		3	要援護者の薬品の確保	14
5	避難誘導	1	事前に把握している対象者に対し、レベル別に「人」を派遣する	15
		2	聴覚障害者に対して災害の起こったことを連絡し避難所まで誘導する	16
		3	身近な人が要援護者に優先的な誘導を行う	17
		4	家の近くで避難所になりそうな場所をいつも確認しておく	18
6	各種団体との連携	1	災害ボランティアを事前に募集しておく	19
		2	各障害者団体に種別ごとの名簿及び連絡網を作り大災害時に渡す	20
		3	要援護者の支援ネットワーク作りをしておく	21
		4	施設・事業者などで連絡協議会を作る	22
		5	日赤との連携を図る	23
7	資金を確保する	1	赤い羽根共同募金から資金を確保する	24

避難所開設・運営

アクション目標		アクション項目		
1	避難情報の提供	1	避難情報を確実に伝える為に複数の伝達手段を確保する	1
		2	避難所の受け入れ人数の把握	2
		3	避難所の過不足のチェック	3
		4	公共施設以外の天理教施設の借用	4
		5	天理教との避難者の支援に関する協定を結ぶ	5
		6	住民への避難所の周知徹底	6
		7	住民への避難する際に持参する物品及び交通手段の徹底	7
2	避難施設の確認	1	避難場所として安心して移動、仮住宅が可能かの点検・確認しておく	8
		2	避難所の耐震改修	9
3	避難物資の備蓄	1	避難所の収容可能数に応じた毛布・衣類等の事前準備物資の確保	10
4	運営マニュアルの作成	1	避難所運営マニュアルの作成	11
		2	避難所を実際に開ける人の確定(順位付け)	12
		3	いつ、災害が起因しても対応できる管理・運営ができるかの点検・確認	13
		4	避難場所として、対応すべき訓練等の実施	14
5	連絡体制を整備する	1	無線等の非常時連絡体制の整備	15
6	避難者名簿を作成する	1	避難者数を把握する	16
		2	家族単位の名簿と配置図を作成する	17
7	情報の収集及び提供	1	相談窓口を設置して場所等を周知する	18
		2	避難所からの苦情対応	19
		3	家族の安否情報を収集する	20

8	避難所での生活支援	1	疾病の状況を把握する	21
		2	プライバシーを守る区切り板やシートを用意する	22
		3	被災者の心身のケアに配慮する	23
		4	トイレ・風呂・ゴミ処理等保健衛生管理を行う	24
		5	仮設住宅の早期設置(避難者の自立支援)	25
		6	物資を公平に分配する	26
9	ボランティアの活用	1	ボランティア受入れ整備の態勢作り	27
		2	ボランティアセンターの運営方法を確立する	28

天理市地震防災対策 アクションプログラム

作業部会報告



施策の柱1

地震につよいまちをつくる

施策項目		アクション目標	
1	地震に強い社会基盤整備を行う	1	防災を考慮した市街地整備を実施する
		2	地盤災害危険区域の予防対策を行う
		3	長周期地震動及び液状化対策など新たな課題に取り組む
		4	第3次地震被害想定調査の実施をする
2	地域特性を反映した火災に強いまちづくりを推進する	1	出火防止対策を実施する
		2	延焼防止対策を実施する
3	防災拠点を整備する	1	広域防災活動拠点等を整備する
		2	防災空間を確保する
4	建物の耐震化等を推進する	1	市有建築物の耐震化を実施する
		2	市有以外の公共建築物の耐震化を推進する
		3	住宅・建築物の耐震化を推進する
		4	居住空間内外の安全確保対策を推進する
5	ライフライン等の予防対策を実施する	1	ライフラインの早期復旧に向けた予防対策を行う
		2	上下水道の早期復旧に向けた予防対策を実施する
		3	公共土木施設等の予防対策を実施する

施策の柱2

地域の防災力を向上させる

施策項目		アクション目標	
1	自主防災組織や企業など多様な主体の防災力を向上させる	1	自主防災組織の活性化を図る
		2	消防団活動の活性化を図る
		3	企業防災活動の活性化を図る
		4	各種団体における防災活動の活性化を図る
		5	防災の担い手となる児童・生徒等に教育・訓練を実施する
		6	災害ボランティアと協働する
		7	多様な主体間の連携を強化する
		8	多様な主体における防災計画の策定等を支援する
		9	表彰制度を充実させる
		10	自主防災組織を立ち上げる
2	防災教育・啓発を行う	1	模範的な防災マニュアルの作成
		2	防災啓発用資料を充実させ内容を明確にする
		3	市が防災啓発イベントや研修会を開催する
		4	地域の勉強会のサポートをする

施策の柱3

的確な防災情報処理を実施する

施策項目		アクション目標	
1	情報処理を標準化する	1	情報内容を明確化する
		2	情報処理業務を明確化する
2	防災情報システムを整備する	1	情報収集手段を確立する
		2	情報発信手段を確立する
3	情報インフラを整備する	1	通信基盤を整備する
4	情報システムの信頼性・安全性を確保する	1	システムを安定的に運用する
5	防災情報システムを整備する	1	情報を蓄積しておく
		2	情報を精査しておく

施策の柱4

人的資源を確保する

施策項目		アクション目標	
1	災害に強い人・組織をつくる	1	職員の災害対応能力を高める
		2	初動体制を充実する
		3	組織の運営体制を充実する
2	連携を推進する	1	市町村との連携を強化する
		2	奈良県・国との広域連携を強化する
		3	民間・各団体との連携を強化する
		4	天理教との連携を強化する
3	災害対応業務をわかりやすくする	1	市民に災害対応業務の対象と範囲を明確化する
		2	災害対応マニュアルを作成する
		3	災害対応訓練を実施する

施策の柱5

市民のいのちを守る

施策項目		アクション目標	
1	被災者を救出・救助する	1	救出・救助用資機材を整備し、訓練を実施する
		2	迅速な活動体制を確立する
		3	広域応援体制を確立する
2	安全に避難できるように支援する	1	避難勧告・指示の基準・内容を明確にする
		2	避難経路の確保をする
		3	学校・病院・福祉施設での避難体制を整備する
3	被災現場において救命救急活動を行う	1	救命救急スタッフの充実を図る
		2	搬送体制を確立する
		3	学校・院内患者の救護体制を確立する
4	医療機関において救命救急活動を行う	1	医療・病院スタッフを確保する
		2	医療施設を確保する
		3	医療機関のライフラインを確保する
5	遺体への対応をする	1	遺体安置所・火葬場を確保する
		2	身元不明者を確認する
6	二次災害を防止する	1	被災施設での二次災害を防止する
		2	危険地域を指定する
		3	二次災害防止マニュアルの作成

施策の柱6

安全・安心を守る

施策項目		アクション目標	
1	安否確認を支援する	1	安否確認される人の種類と量を把握する
		2	住民・地域・行政の間のネットワークを確立する
		3	安否確認すべき物の種類と量を把握する
2	通勤・通学の帰宅困難者を支援する	1	帰宅困難者の可能性が高い人への事前準備・啓発活動
		2	帰宅困難者を把握する
		3	帰宅する手段を確保する
		4	帰宅困難者への情報提供を行う
		5	帰宅困難者からの情報を把握する
3	地域の治安を確保する	1	日頃から自主防犯活動の体制を確立する
		2	治安確保の体制を整備する
		3	治安活動を実施する

施策の柱7

生活基盤を安定させる

施策項目		アクション目標	
1	公共施設等の復旧に取り組む	1	公共施設等の機能の早急な復旧を図る
2	ライフラインを早急に復旧する	1	関係機関(電気、ガス、通信、鉄道等)との連絡体制を確立する
		2	上下水道を早急に復旧する
3	緊急輸送の手段・ルートを確保する	1	緊急輸送路を確保する
		2	緊急車両のルール決め
		3	道路状況情報収集(ソフト対策)

施策の柱 8

市民の生活を支援する

施策項目		アクション目標	
1	避難生活を支援する	1	避難所を確保する
		2	避難所に必要な機能を整備する
2	災害時要援護者を支援する	1	災害時要援護者の支援指針を策定する
		2	災害時要援護者を支援する体制を確保する
3	水・食料・生活必需品を確保する	1	食料・生活必需品の備蓄を行う
		2	救援物資配給の仕組みをつくる
		3	上水を確保する
		4	生活用水を確保する
4	保健衛生対策を実施する	1	住民への衛生対策を行う
		2	住民への健康対策を行う

施策の柱9

天理市のイメージを守る

施策項目		アクション目標	
1	文化財を保護する	1	文化財所有者に意識啓発を図る
		2	観光資源を守る
		3	復興資金を集める仕組みをつくる
		4	文化財の被災状況の把握
2	観光客の帰宅困難者を支援する	1	観光客の帰宅困難者対策をする
		2	外国人観光客対応の仕組みをつくる
3	天理教本部との連携	1	市と天理教本部の連絡協議会設置

施策の柱10

復興を視野に入れる

施策項目		アクション目標	
1	被災者のくらしとごとの再建を支援する	1	罹災証明発行業務を実施する
		2	生活再建を支援する
		3	生活資金を確保する
2	被災者のこころとからだを支える	1	被災者の健康、こころとからだのケアを実施する
3	すまいを再建する	1	被災者の応急仮設住宅を確保する
		2	倒壊した建物等を撤去する
		3	住宅の復興を支援する
4	まちを復興する	1	災害からの復興まちづくり(まちの復興)を進める
		2	災害廃棄物処理を実施する
5	中山間地域の復興を支える	1	中山間地域の孤立化防止の対策を促進する
		2	農林関係の復興を支援する
6	復旧・復興のために多様な資金を活用する	1	復興基金を創設する
		2	国の災害対策制度を活用する
7	経済被害の軽減のための復旧・復興対策を実施する	1	被災企業等が業務の継続を図れるよう対策を講じる
		2	経済の活性化を視野に入れた復興対策を検討する
8	震災からの復興ビジョンを描く	1	震災復興本部を設置する
		2	復旧・復興計画を策定する

アクションプログラム策定をおえて

1. 苦労

初めての事業だった
職員の防災意識が低かった
関係者の意見の疎通

2. 成果

職員の防災意識が向上した
事業計画を明確化することができた
減災目標(値)を設定することができた

最 後 に

林教授他専門家の先生及び
県の防災統括室の皆様方
のご指導に感謝申し上げます。

引き続き、天理市の防災関連
業務等にご支援ご協力を賜り
ますようお願いいたします。